



平成30年度雇用管理改善企業・職場表彰企業
(よか・ろう・もん表彰)

社会福祉法人 南風会 ヘルシーハイム

[北九州市小倉北区]



理事長
栗田 淳二

企業概要

- 業種／老人福祉・介護事業
- 創業／1993年
- 従業員数／56人(うちパート6人)

取組みのきっかけ

2000年に介護保険制度の導入に伴い、人手不足が深刻化。2002年には離職率が60%となり、社員の定着を図るため、働きやすい職場づくりに着手した。

取組みの成果

- IT(グループウェア)の導入で、業務を効率化。
- 2003年に7,000時間だった全体の残業時間が、年間160時間(2017年)に削減。
- 2007年に30~40%だった年次有給休暇取得率が、2017年には86%に増加。

取組みの内容

◎ITを活用して情報を共有

2003年にIT(グループウェア)を導入し、紙ベースで管理していた帳票を電子化。育休中の社員も含め、社内メールは自宅でも使える。全員で情報を共有できるため、業務引継ぎの打ち合わせや朝礼が不要になり、仕事の効率が上がった。

◎評価基準の明確化と同一労働同一賃金の導入

人事評価制度を見直し、わかりやすい評価基準を設定。職種ごとに職務内容を洗い出し、求められる役割と技能を明らかにした。これを基に職務に応じた時間給を割り出し、正社員も契約社員も同じ基準で賃金計算ができるようになった。

◎定時に帰ってしっかり休める職場環境

時間内に終わらない業務は次の担当に引き継ぐなど、サービス残業をしない労務管理を徹底。打ち合わせや会議も業務時間内で行い、全社的に残業時間が削減された。トップの呼びかけで有給休暇の取得率もアップ。早退などの時間年休も積極的に活用されている。



iPadで全ての利用者の健康状態や食事の記録などを入力。情報のデータベース化で、業務を効率化し引継ぎがスムーズに。



社員同士で感謝の気持ちを伝える「トークンカード」。コミュニケーションの向上にもつながっている。

従業員の声



デイサービス 柿 瞳さん

入社してから育休を2回いただきました。産休前に上司との面談があり、復帰前には子連れで短時間の勤務をさせてもらうことができ、1年間休んでも不安なく業務に戻れました。自宅でも社内情報を見られるシステムなので、仕事の流れができてスムーズでした。

情報と評価をオープンに、安心して働ける職場づくり